



## チリ中部沿岸における地震により津波が発生

平成22年2月27日、チリ中部沿岸で大規模な地震が発生しました。この地震は、ナスカプレートと南米プレートとの境界で発生したプレート境界型地震であり、放出されたエネルギーは、阪神大震災の約1,500倍となっています。翌28日には大津波警報が発令され、日本各地に津波が到達しました。南北に長さ約600kmの断層が動き、最大7mのずれが生じこれが海水を持ち上げ津波をもたらしたと考えられており、反射や別の津波との重なりにより大きくなる可能性から気象庁は、ハワイでの観測値よりも高い最大3mと予測しましたが、仙台管区気象台の現地調査より最大波が両替漁港(岩手県陸前高田市)の1.9mであり、遠隔地津波予測の難しさが現れています。この津波により漁業施設等への被害が発生しています。

今回の大津波警報により、1名の防災エキスパートが北上川下流河川事務所に自主参集しております。

### 【チリ地震の概要】

震源地:チリ中部沿岸(南緯35.8度、西経72.7度)  
深さ:約35km  
マグニチュード:8.8  
発震機構:東西方向に圧力軸を持つ逆断層型

### 【地震発生からの流れ】

2月27日	15時34分頃	地震発生
2月28日	9時33分	東北地方太平洋沿岸に 大津波警報発令
2月28日	14時頃～	各地で第1波観測
2月28日	20時52分	仙台港にて最大波 1.1m観測
3月1日	10時15分	津波注意報解除



(馬淵川における津波遡上状況)

### チリ中部沿岸地震に伴う東北地方整備局の対応について

東北地方整備局 企画部 防災対策官

平成22年2月27日チリ中部沿岸を震源とするマグニチュード8.8の地震が発生し、28日9時33分に太平洋沿岸を中心とした広域に大津波警報や津波警報が発令されました。

東北地方整備局では、大津波警報発令とともに非常体制を発令し、本局と事務所を含めて約800名の職員が参集し、津波対応にあたりました。

直轄管理施設の対応としては、河川への津波遡上による被害を防ぐため、水閘門施設53箇所で作業を実施し、道路については国道45号(21区間)、国道6号(2区間)にて通行止めを実施しました。

また、防災ヘリコプター(みちのく号)で津波被害状況の巡視を行ったほか、災害対策現地情報連絡員(リエゾン)を青森県、岩手県、宮城県、石巻市、東松島市、松島町に延べ15名を派遣し、情報収集を行いました。

結果的に、今回の津波による直轄管理施設に係る被害はありませんでしたが、津波発生時における道路通行止めの対応などについて検討すべき課題も確認され、今後改善を図ることとしています。



(災害対策本部の状況)

## 防災講演会を開催

平成22年2月2日、戦災復興記念館において防災講演会が開催されました。寒い中、約290名の参加者がありました。15回目の今回は、都市型災害をテーマとしており、来たるべく宮城県沖地震への意識の高さから、定員を越える約400名もの申し込みがあり、地震に対する関心の高さが感じられました。講演の外、s53発生の宮城県沖地震の被災状況の写真や今後発生が予測される宮城県沖地震の被害想定パネル等の展示も併せて行われました。(なお、本事業は、みちのく国づくり支援事業の共催事業として実施したものです。)



(講演をする目黒氏)

### 【講演タイトル】

「確実にやってくる大地震に対して 一地震防災対策のあるべき姿～ハードとソフト、事前と事後、公と私～」

東京大学教授・生産技術研究所都市基盤安全工学国際センター長 目黒公郎氏

「日本一災害に強い都市を目指して」

新潟県長岡市理事・危機管理監 笠原芳彦氏

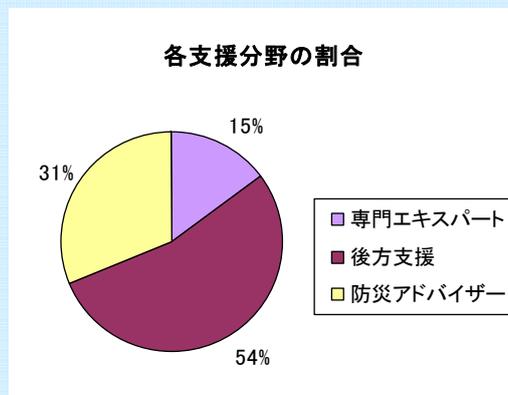
## その他の活動

平成21年12月に山形河川国道管内における最上川上流現地調査(2日間)に1名の防災エキスパートが活動しています。

## 防災エキスパート事務局より

(防災エキスパート再登録について)

防災エキスパートの皆様には、再登録申請の御案内をし、防災エキスパートの再登録をお願いしていましたが、無事に再登録が完了いたしましたので御報告いたします。登録状況の詳細は以下のとおりです。



新年度からは、この体制でスタートすることとなります。

また、健康上の理由等により継続されなかった皆様、これまでの御協力ありがとうございました。

## 編集後記

今年度は、駿河湾を震源とする地震の他、ハイチ地震、チリ地震と世界でも大地震が発生しました。チリ地震による津波で過去の災害が風化していることが懸念される中、3月14日には最大震度5弱(福島県楢葉町)を観測した福島県沖地震が発生し、前夜の地震と合わせて宮城県沖地震かとドキッとされた方も多くたと存じます。～災害は忘れた頃にやってくる～過去の災害を風化させないことの必要性を感じた年度末でした。

今年度も防災エキスパートだよりをご愛読いただきありがとうございました。今後も防災エキスパート活動への御参加・御協力をよろしくお願いいたします。

防災エキスパート事務局 地域事業部 記

mailto: [bousai@kyokai.or.jp](mailto:bousai@kyokai.or.jp)